

## 令和6年度大阪府公立高等学校入学者選抜における学力検査問題等について

学力検査及び実技検査等の問題は、大阪府教育委員会（以下「府教育委員会」という。）が作成する。  
 学力検査の問題は、中学校卒業までに習得される基礎的な学力を評価することをねらいとして、国語、社会、数学、理科、英語について作成する。

- 1 国語、数学、英語の学力検査問題について、特別入学者選抜（以下「特別選抜」という。）においては2種類、一般入学者選抜（以下「一般選抜」という。）においては3種類をそれぞれ作成する。各高等学校は、使用する問題を課程別に選択して高等学校を設置する教育委員会に申請し、同教育委員会はこの申請を踏まえて決定し、事前に公表する。

問題の種類、特徴、検査時間及び配点については、次のとおりとする。

### 〔国 語〕

| 種類           | 特 徴   | 特別選抜 |     | 一般選抜 |     |
|--------------|---|------|-----|------|-----|
|              |   | 検査時間 | 配 点 | 検査時間 | 配 点 |
| A<br>(基礎的問題) | 基礎的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題や、国語に関する基礎的な知識を問う問題を中心に出题する。                 | 40分  | 45点 | 50分  | 90点 |
| B<br>(標準的問題) | 基礎的・標準的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題を中心に、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題をあわせて出题する。 | 40分  | 45点 | 50分  | 90点 |
| C<br>(発展的問題) | 標準的・発展的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題とともに、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題を中心に出题する。  | /    |     | 50分  | 90点 |

### 〔数 学〕

| 種類           | 特 徴  | 特別選抜 |     | 一般選抜 |     |
|--------------|--|------|-----|------|-----|
|              |  | 検査時間 | 配 点 | 検査時間 | 配 点 |
| A<br>(基礎的問題) | 基礎的な計算問題を出题するとともに、「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」の基礎的な事項についての理解を問う問題を中心に出题する。 | 40分  | 45点 | 50分  | 90点 |
| B<br>(標準的問題) | 「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」の基礎的・標準的な事項についての理解を問う問題を中心に出题する。               | 40分  | 45点 | 50分  | 90点 |
| C<br>(発展的問題) | 「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」の標準的・発展的な事項について、数学的に処理し判断する力を問う問題を中心に出题する。     | /    |     | 60分  | 90点 |

## 〔英 語〕

| 種類           | 特 徴   | 特別選抜                         |     | 一般選抜                         |     |
|--------------|---|------------------------------|-----|------------------------------|-----|
|              |   | 検査時間                         | 配 点 | 検査時間                         | 配 点 |
| A<br>(基礎的問題) | 〔筆答〕<br>基礎的な語彙・文法の理解を問う問題<br>とともに、基礎的な内容の英文を読み<br>取る力を問う問題を中心に出題する。<br>〔リスニング〕<br>自然な口調で話された英語からその具<br>体的な内容や必要な情報を聞き取る力<br>を問う問題を中心に出題する。  | 55分<br>〔筆答 40分<br>リスニング 15分〕 | 45点 | 55分<br>〔筆答 40分<br>リスニング 15分〕 | 90点 |
| B<br>(標準的問題) | 〔筆答〕<br>基礎的な語彙・文法についての理解を<br>問うたうえで、基礎的・標準的な内容<br>の英文を読み取る力を問う問題を中心<br>に出題する。<br>〔リスニング〕<br>自然な口調で話された英語からその具<br>体的な内容や必要な情報を聞き取る力<br>を問う問題を中心に出題する。  | 55分<br>〔筆答 40分<br>リスニング 15分〕 | 45点 | 55分<br>〔筆答 40分<br>リスニング 15分〕 | 90点 |
| C<br>(発展的問題) | 〔筆答〕<br>標準的・発展的な内容の英文の中か<br>ら、話題や論理の流れに沿って必要な<br>情報を素早く読み取る力を問う問題と<br>ともに、一定量以上のまとまりのある<br>内容を英文で適切に表現する力を問う<br>問題を中心に出題する。<br>※問題文は、指示文を含め、すべて英<br>語で構成する。<br>〔リスニング〕<br>自然な口調で話された英語からその具<br>体的な内容や必要な情報を聞き取る力<br>を問う問題とともに、「読む・聞く・書<br>く」技能を統合的に活用する力を問う<br>問題を出題する。 | /                            |     | 55分<br>〔筆答 30分<br>リスニング 25分〕 | 90点 |

\* 英語の学力検査は、「大阪版 中学校で学ぶ英単語集（令和4年6月改訂）」から出題します。

(<https://www.pref.osaka.lg.jp/kotogakko/gakuji-g3/index.html>参照)

\* A、B問題のリスニングテストでは、同一問題を使用し、配点は約20%（5分の1）とします。

\* C問題のリスニングテストでは、A、B問題と異なる問題を使用し、配点は約33%（3分の1）とします。

2 社会、理科については、特別選抜及び一般選抜において、1種類ずつを府教育委員会が作成する。  
検査時間、配点については次のとおりとする。

| 教 科 | 特別選抜 |     | 一般選抜 |     |
|-----|------|-----|------|-----|
|     | 検査時間 | 配 点 | 検査時間 | 配 点 |
| 社 会 | 40分  | 45点 | 40分  | 90点 |
| 理 科 | 40分  | 45点 | 40分  | 90点 |

3 実技検査の検査内容、検査種目、配点については、以下のとおりとする。

| 学 科  | 検査内容                               | 検査種目      | 配 点  |
|--|------------------------------------|-----------|------|
| 工業に関する学科（建築デザイン科、インテリアデザイン科、デザインシステム科、ビジュアルデザイン科、映像デザイン科及びプロダクトデザイン科）、総合造形科及び美術科 | 美術に関する基礎的な描写力及び総合的な表現力             | 基礎的描写     | 75点  |
|  |                                    | 総合的表現     | 75点  |
| 音楽科  | 音楽に関する基礎的な視唱力・聴取力及び希望する専攻実技における表現力 | 視唱        | 30点  |
|  |                                    | 専攻実技      | 100点 |
|  |                                    | 聴音        | 20点  |
| 体育に関する学科   | 運動に関する基礎的な能力及び希望する検査種目における技能       | 運動能力      | 45点  |
|  |                                    | 運動技能      | 180点 |
| グローバル探究科   | 英語に関する技能のうち、「読む」「聴く」「話す」の総合的な運用能力  | 英文の音読     | 20点  |
|  |                                    | 英語による口頭試問 | 80点  |
| 演劇科  | 演技に関する基礎的な表現力                      | 身体表現      | 75点  |
|  |                                    | 歌唱表現      | 75点  |
| 芸能文化科  | 芸能文化に関する基礎的な表現力及び探究力               | 朗読        | 50点  |
|  |                                    | 口頭試問      | 50点  |